



やまかみニュース

■発行■ 医療法人 久仁会

homepage http://www.kyujinkai-mc.or.jp
E-mail info@kyujinkai-mc.or.jp

鳴門山上病院

介護老人保健施設
いこいの家 鳴山荘

やまかみ 訪問看護
ステーション

鳴門市地域包括
支援センター やまかみ

TEL687-1234 (代)

TEL687-1005 (代)

TEL683-6265 (代)

TEL683-6727 (代)

〒772-0053 鳴門市鳴門町土佐泊浦字高砂205-29

2009年度の方針

医療法人 久仁会 理事長 山上 久

昨年12月26日介護報酬改定が公表され、4月より介護報酬が改定されます。発表では「介護の充実が目指した改定」とのことですが、それはかなり疑問があるコメントと思います。

久仁会と鳴寿会は今年度の方針として①介護報酬改定によるサービスの強化②制度の変更を考慮した改築計画の修正③病院医療機能評価の再々認定④養護ホーム鳴愛荘の充実⑤在宅医療介護の充実をめざします。

①介護報酬改定によるサービスの強化
厚労省は在宅分1.7%施設分3.8%で合計3%の改定との事ですが、シミュレーションでは決してそのような楽観的なものではありません。

この改定では、(1)介護職員の待遇改善と確保、(2)医療との連携と認知症対応、(3)更に効率的に介護サービスを提供することが目標で、介護報酬のプラス改定により介護職員の待遇改善を図つたとしています。介護福祉士など免許に対しての評価だけでなく、実際の総合的なケアサービスの評価にはなっていない。

また、サービスの利用単価は上げていきますが支給限度額は変えていないため、患者様・利用者様の負担の増加が発生したり、利用サービス量を減らさなければならぬケースがあったりと、利用者にとってプラス改定とは言えないのです。これはタクシーの運賃改定をすると下

ライバーの待遇が改善され、乗客へのサービスも改善されると言っているようなものです。

介護保険も医療保険とともに職員は資格を取らないと評価されない制度になるうとしています。メディカル、コメディカル(パラメディカル)、そして事務等に至るまで資格で評価する方向です。施設への評価も同様で有資格者の比率が重要視される方向です。

ファイリピン、インドネシアからの研修生も看護・介護の資格を取ることが継続して資格を取らなければ医療福祉の世界でも労働が難しくなる方向性です。

医療福祉に限らず資格を持つことが重要な条件となりつつある現在の派遣労働の問題にも通じるところがあります。

また今回の改定で介護療養型老健施設への転換を誘導していますが、現状では全国でたった10病院でしか転換が行われません。急速に増えるようにも思われません。

②制度の変更を考慮した改築計画の修正
今年度中に着工を目指していましたが国の高齢者医療制度や療養病床転換への方針が二転三転し、与党・野党共に介護難民問題等として問題視するようになり、更に世界的な不況による経済、雇用問題そして政権交代の可能性もあり、「介護療養病床廃止」についても廃案の可能性も出てきました。よって現状を見極めつ

つ、制度に沿った改築計画に修正し実行を目指します。

③病院医療機能評価の再々認定

当院の3回目の認定審査が2月15日より行われます。5年ごとに認定の更新申請を受けることとなっています。次第にハードルは高くなっていきますが、患者様・利用者様にとってよりよい施設と、認定取得を全員で目指してゆきます。

④養護ホーム鳴愛荘の充実

養護ホーム「鳴愛荘」もほぼ満床(定員60人)になりました。入所者の高齢化が進んでおり、介護保険サービスの利用も可能となりましたが、要介護度の上昇や訪問リハビリの利用等が増え、病院との連携強化や将来的には特養への転換も考慮しています。

⑤在宅医療介護の充実

介護報酬改定で在宅介護、リハビリは評価されましたが体制加算等は廃止され、実際に提供したりリハビリなどが評価されません。在宅リハビリ、短期集中リハビリそして認知症リハビリも短期集中が評価されることとなりました。重症者、重介護者のショートステイ等も評価されるようになり、より求められるサービス提供を目指します。

非常に厳しい時代に入り全てが厳しい環境ですが、強いものが生き残り弱いものが滅びるのではなく、変化するものが残ってゆく、というダーウインの言葉のように、地域の患者様・利用者様を選んでいただける施設とサービスを目標し、国の政局の変化や厚生行政の確に分析しつつ体制変更や施設の増改築、在宅医療・介護を推進します。

家庭の医学

院長 國友 一史

ノロウイルスについて

昨年来マスコミをにぎわしているノロウイルスですが、毎年冬季を中心に食中毒としては8,000～12,000人程度、小児科での定点集計による感染性胃腸炎としては年間30万人ほどが報告されています。しかし、今シーズンはその何倍もの発症がみられており、徳島県でも徳島、阿南の両保健所管内に続いて昨年12月18日には、吉野川保健所管内でもノロウイルス警報が発令されています。ノロウイルスは牡蠣などの二枚貝が原因となる食中毒が有名ですが、実際に牡蠣が原因となることは10%内外と少なく、特に今シーズンでは感染性胃腸炎を発症した患者様の吐物や便から二次感染することが多いようです。ウイルス自体は流行期にはそこかしこに存在していて、必ずどこかで接触する機会があると考えべきです。ノロウイルスの感染形式は主に接触感染で、手についたウイルスが直接、または汚染された手で触った食物や食器から口に入ることによって感染しますが、一部には吐物や便の飛沫が飛び散り、直接的に飛沫感染したり、ウイルスを含む塵が空中をただよい、これを口に吸い込むことで感染するとも言われています。以下に感染対策のポイントをあげます。

- ① ノロウイルスは主に手指についたものが口に入ること（わずかな量が口に入るだけで感染）で感染します。
- ② 感染した人が必ず発病するとは限らず、無症状またはごく軽い症状のみでウイルスだけ排出していることがあります（キャリアー）。
- ③ ノロウイルスはエンベロープと呼ばれる蛋白質の膜がない構造のため、アルコールやオスパンでは消毒できません。
- ④ ノロウイルスは85℃、1分間の加熱で感染能力がなくなります。感染源となる手指は次亜塩素酸処理も加熱も出来ませんが、石鹸と流水による十分な手洗いでウイルスを洗い流すことが基本となります。
- ⑤ むやみに手で頭（髪）、顔、鼻、口には触らないこと。
- ⑥ 吐物や下痢便の処理は、プラスチック手袋、マスクとエプロン（大きなビニール袋で代用し使用後廃棄するのがよい）をつけ、40倍希釈（約1,000ppm）のハイター液をひたしたペーパータオルをかぶせ、外側から内側に向けて飛び散らないようゆっくりと拭き取る。ペーパータオルや汚物は密閉できる袋に入れて廃棄する。ゴム手袋は次亜塩素酸に弱いので使用しないこと。手袋・マスク等は使用後直ちに廃棄、手袋を脱いだら直ちに手洗いの基本を守る。吐物や便が付着した衣服やシーツ類の洗濯は、まず手袋、マスクをつけて飛び散らないよう注意しながら流水ですすぎ、ついで85℃1分以上の熱水処理か、可能であれば200倍希釈のハイター液に5分以上漬けてから行うこと。食器や調理器具で可能なものは熱水洗浄か、200ppm以上のハイター液で処理すること。

「糖尿病の運動療法」

リハビリテーション

リハビリテーション部門
統括士長 直江 貢

徳島県では、平成5年から平成18年まで「糖尿病死亡率全国ワースト1位」を記録し、また糖尿病患者も、平成18年の厚生労働省の調査（患者調査）では入院・外来とも「全国1位」となっており、「糖尿病対策」は最も重要な健康課題の一つとなっています。

今回はリハビリテーションの立場から糖尿病の運動療法について概説します。運動療法は、食事療法、薬物療法と並んで糖尿病治療の有力な治療手段です。糖尿病の運動療法の主な目的は、低下しているインスリンの働き目を良くすることにあります。糖尿病の運動療法として最も効果的な運動は、酸素を十分に取り入れて行う運動、いわゆる有酸素運動（エアロビクス）です。具体的にはウォーキング、ゆつくりしたジョギング、サイクリング、水泳などです。これらの運動を、血糖が最も高くなる時間帯である食後1～2時間目、1日に30～60分程度、週3～5回行うのがベストです。

運動は、20分以上続けることが効果を高める秘訣です。これは、運動を始めて15分を境に、エネルギー消費の比率が、血糖中心から脂肪中心へと移行するためです。10分程度で中断するだけでは、血糖は下がっても脂肪は減らないので、運動療法としての効果は半減します。

また、運動を行う時は、ゆつくりスピードを上げていき（ウォームアップ）、終了時にもゆつくりスピードを下げっていくようにします（クールダウン）。

運動は長く続けて初めて効果がでます。糖尿病や肥満症の場合でも、運動療法の目的は、必ずしも毎回の運動で直接ブドウ糖や脂肪を燃やすことではありません。長期的な運動で筋肉量や筋肉を流れる血液の量を増やし、またその他全身の細胞を活性化することでエネルギー消費を円滑にすることが目的です。長く続けることのできる無理のない運動療法心がけてください。

但し、血糖コントロールが極端に悪い場合、高血圧、腎臓機能の低下がある場合など、運動療法を禁止したり制限した方がよい場合があります。運動療法開始前には、主治医と良く相談することが大切です。

【運動療法の効果】

- ① インスリンの働きが良くなる
- ② 血糖値が下がる
- ③ 脂肪の利用が促進され、体重が減少する
- ④ 合併症（動脈硬化等）の予防・改善
- ⑤ 心肺機能の改善
- ⑥ 筋力強化・貯筋（筋肉は使えば貯まります）
- ⑦ ストレス解消・体力増強などの健康維持

H20年 新聞・雑誌掲載情報

①ご近所のお医者さん【毎日新聞】2008. 11月掲載分より

当法人では病院、介護老人保健施設（老健施設）、訪問看護ステーション、地域包括支援センターなどを運営していますが、私は主として老健施設の施設長、医師として入所の方、デイケアの方の診療を担当しています。介護の現場では、医師だけでは患者さんは良くなりません。看護師や介護士、リハビリスタッフ、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカーなどさまざまな職種の人たちと協力してケアにあたります。毎週、カンファレンス（会議）を行い、患者様の病状などの情報交換、治療、ケア方針の徹底をはかります。例えば、脳梗塞を患われて麻痺のある方などに対して、どうやって起き上がっていただくか、どのように車いすを置かかなど、どのスタッフが介助しても安全、安楽にできるようにします。カンファレンスには患者様自身やご家族の方に参加していただくこともあります。医師としては専門用語ではなく、皆さんにわかりやすい言葉で話すように心がけています。また、老健施設は在宅支援が重要な役割と考えています。

この地域ではラッキョウやワカメが特産品ですが、そのシーズンには大変多忙となるため、ショートステイをご利用されるご家庭も多くあります。デイケアも一日平均60人の方がご利用になられて個別リハビリに励んでおられます。その他、病院の外来で訪問看護や訪問リハビリを担当しています。

病気だけではなく、生活していく上の問題点などを多職種の総力で解決していきたいと思っています。患者様や介護者の方の心の支えになることができれば幸いです。



介護老人保健施設 いこいの家「鳴山荘」
山上敦子施設長

②高齢患者の服薬を
きめ細かく支援
【薬事日報】2008. 6月掲載
薬剤科

③医療安全に貢献
～患者・他職種への働きかけを通じて～
【月刊薬事】2008. 9月掲載
薬剤科

ちょっと一言。。。

初夢に見ると縁起がよいといわれる「一富士二鷹三なづな

なぜ三番目になすなのでしょうね不思議です。



第1回慢性期医療認定講座を受講して

平成20年9月から11月に至る計6日間の日程で、西宮市平成リハビリテーション専門学校に於いて本講座が開催されました。

慢性期医療に携わる医師、看護師計119名が参加し、慢性期医療に必要な疾患の基礎知識保険制度、地域連携、医療事故対策、栄養、リハビリテーション、服薬管理、感染、褥瘡、身体抑制、口腔・排泄ケア、ケアプラン等について幅広く学びました。各分野の第一人者の講師の先生による有意義な貴重な講義内容でした。医療技術が高度化する中、急性期病院の在院日数の短縮化が進み、それを引き継ぐ私達慢性期医療の役割は大きく幅広い知識と技術が必要であることを実感しました。受講した内容を少しずつでも伝達し、現場でのケアに生かせるよう取り組んでいきたいと思ひます。貴重な講座に参加させていただきありがとうございました。

2西病棟看護師長 下岡和美



謹んで新年の
ご祝詞を
申し上げます

今年もどうぞよろしく
お願い申し上げます

医療法人 久仁会

理事長 山上 久

鳴門山上病院

院長 國友 一史

介護老人保健施設

いいの家 鳴山荘

施設長 山上 敦子

今年も久仁会は

わたしも受けたいケア

わたしも利用したい施設

わたしたちはそれを目指します

をモットーに職員一同頑張ります

久仁会 職員一同





明けましておめでとうございます。
今年もスタッフ一同笑顔であたたかいケアを目指して頑張ります。よろしくお願ひします。

1病棟

あけましておめでとうございます。
患者様の意欲を引き出し、在宅復帰ができるようがんばります。今年もよろしくお願ひします。

2東病棟

新年あけましておめでとうございます。
医療が必要な患者様へ適切なケアの提供と、その御家族様へ心からの支援を行い、笑顔と思いやりの心をもち「患者様の心に寄り添う看護・介護」を念頭にスタッフ一同力を合わせ頑張っていきたいと思ひます。本年もよろしくお願ひします。

2西病棟

新年あけましておめでとうございます。
医療療養病棟として安心して療養していただける環境作りと思ひやりのあるケアを提供しチーム一丸となって頑張っています。今年もよろしくお願ひします。

2南病棟

新年あけましておめでとうございます。
私達の病棟では、優しい声かけを目標とし、明るく楽しく、チームワークを大切に今年もスタッフ一同頑張りたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

3東病棟

3西病棟に勤務して、9ヶ月になりました。3西病棟を明るく家庭的な病棟にしたいと思ひ頑張ってきました。「クリスマス会、良かったなあ」と言う患者様の明るい笑顔を励まされ、今年ももっと明るく楽しい介護病棟を目指して頑張りたいと思ひます。

3西病棟

新年明けましておめでとうございます。
今年も利用者様が、安全に楽しく、生き生き生活できるように職員一同頑張ります。
介護で困ったときには、お気軽にご相談ください。今年もよろしくお願ひします。

老健

新年明けましておめでとうございます。
本年も当部門の理念「地域に根ざし、くらしを支えるリハビリテーション」に従い、多職種との連携と協業による効果的なリハビリテーションを追求するとともに、「リハビリマインド」のあるシームレスなサービスの展開に邁進して参ります。やまかみ訪問リハビリテーションセンター、「リハビリ関連地域医療連携室」共々本年もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

リハビリテーション部門

他部門との連携を図り、患者様が在宅生活を継続できるよう働きかけ、安心して受診できる外来にしていきたいと思ひます。

外来

新年あけましておめでとうございます。
昨年中は大変お世話になりました。ありがとうございました。「ステップ」にきて良かった、続けて来たいと思ひただけだった、笑える場であるよう職員一同頑張ります。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

通所リハビリテーション「ステップ」

明けましておめでとうございます。
いつも明るく笑顔を絶やさない薬剤科は、患者様一人一人の心に寄り添い、服薬支援を行ってきたいと思ひます。本年もよろしくお願ひいたします。

薬剤科

早期発見・早期治療となる予防目的に役立てられるよう、他部門とのコミュニケーションを密にしながら、人として又、技師としての資質を向上させたいと思ひます。

検査科

患者様優先を目標に、健康管理に気をつけて、患者様にご迷惑をかけるないように頑張ります。

放射線科

明けましておめでとうございます。
栄養科では食事を通して、皆様のお元氣復活へのお手伝いをさせて頂いております。ご本人様、ご家族様方のお声を聞かせていただきながら、美味しい食事、喜ばれる食事作り、栄養科職員一同努力します。ご意見、ご相談などお気軽にお声かけ下さい。本年もよろしくお願ひいたします。

栄養科

本年も「高齢者の生活を支援する地域の身近な相談窓口」とし、地域に根ざした活動を展開して参りたいと思ひますので、よろしくお願ひ申し上げます。

地域包括支援センターやまかみ

明けましておめでとうございます。
昨年中は大変お世話になりました。ありがとうございました。今年は、清く明るくたくましく、微力ではありますが、皆様のお役に立てますよう、スタッフ一同頑張ります。今年もよろしくお願ひいたします。

ケアマネ課

新年明けましておめでとうございます。
本年もマザーヤすだち保育園の子供達が笑顔の絶えない一年であるように、楽しい雰囲気の中で生活できるように努力していきたいと思ひます。今年もよろしくお願ひします。

保育所

新年明けましておめでとうございます。
訪問看護をご利用ありがとうございます。今年はメンバーも新しくなり、心機一転張り切っております。安心・安全に在宅療養が送れるようお役に立ちたいと思ひます。今年もよろしくお願ひします。

訪問看護ステーション

新年あけましておめでとうございます。
3年が経ちました。日頃より地域の皆様方のご協力に対し深く御礼申し上げます。

本年も「高齢者の生活を支援する地域の身近な相談窓口」とし、地域に根ざした活動を展開して参りたいと思ひますので、よろしくお願ひ申し上げます。

地域包括支援センターやまかみ

軽食ツアー

平成20年9月11日・10月2日に北灘町にある「風待ちの丘ルン」へケーキを食べにいった。景色も良く北灘の海が一望できるテラスでケーキセットと飲み物を頂きました。皆さん景色の良さにビックリ!!

また車の乗り降りの際にお嬢さんが一匹おり、木の実を食べている光景に出くわしました。

景色も良く、なかなか出来ない体験ができ、参加された入所者の皆様にとっても楽しい軽食ツアーとなりました。



老健運動会

平成20年9月25日に毎年恒例の老健の大運動会を開催しました。頭にハチマキを巻いて利用者の皆様はやる気満々です! ラジオ体操、玉入れと競技が進むに連れて楽しそうな笑顔があちらこちらで見られるようになりました。

パン食い競争ではゆらゆら揺れるパンを掴もうと、皆様必死の表情で1階ホールは笑い声でいっぱいになりました。おもしろい声でいっばいになりました。おのぐるぐるゲーム、炭鉱節を見る顔はとっても楽しそうで普段とは違う表情でした。

あつという間の運動会でしたが、利用者の皆様からは「楽しかったな」と言う言葉が次々に聞かれましたスタッフもとても嬉しい気持ちになりました。



老健餅つき大会

「もういくつ寝るとお正月!」そんな歌が聞こえて来るようになった年の瀬。いつものように老健主催の餅つき大会を行いました。

杵と臼を使った餅つきは今ではもう珍しくなりましたが、昔はそうもついでおられたんですね。「1、2、3、」と大きな声をかけながら男性スタッフが力強く次々にお餅をつきあげていきます。ピカピカにつきあがったお餅を手早く丸めて美味しそうなお餅が完成しました。白餅、芋餅それぞれ美味しそうに利用者の皆様がほおばります。皆さんとても幸せそうな表情をされていました。

あわただしい年末の1日でしたが、他の病棟の方々もレクの一貫として参加され、とてもにぎやかに楽しいお餅つきになりました。

またこの日は、老健で2ヶ月に1度のお誕生日会でもありました。今回は餅つきと合同で行ったので、とてもにぎやかに大勢の方にお祝いをしました。メッセージカードとプレゼントを手渡されて、笑顔いっぱいのお誕生日の皆様でした。いくつになってもお誕生日は嬉しいものですね。来年も又、元気にこの日が迎えられるように頑張ってくださいね。

ご利用の家 鳴山荘





保育所の可愛い子供達・妖精みたい

12月13日に1階ホールにて世間より一足早くクリスマス会が開かれました。今年はお出し物の計画・実行の全てを病棟職員によって執り行ないました。スタートでもある保育園児のお遊戯では、患者様の顔もおもわずほころび、歌や演奏などのスタッツフレクリエーションでは聞き惚れるなど、患者様も参加できる体感や、ベル演奏などのポリニームのあるプログラム内容で盛大に行われました。尻相撲では笑いや興奮につつまれ、濃密な時間を過ごしていただけたのではないのでしょうか。来年のクリスマス会もこれまで以上の楽しさを提供できればと思います。

クリスマス会



世間は寒くても心は熱い。。。
ごちそうさま(*_*)

田中 宏樹さん
愛さん (旧姓 河野)
(看護部 1病棟)

平成20年8月4日入籍日



毎日が幸せです。
朝早くから夜遅くまで一生懸命働いてくれるダーリンに感謝いっぱいです。



ほんとに可愛い女の子・・・
未はミスユニバース??



お名前 森本 華帆 (かほ) ちゃん
生年月日 平成20年10月16日
お父さん 森本 幸司さん (ステップ)

お名前 久次米 彩衣 (あい) ちゃん
生年月日 平成20年6月26日
お母さん 久次米 幸美さん (ステップ)

☆パパより一言
明るく元気に育ってください。

☆ママより一言
元気に育ってね。

『川柳の会』

銀毛色 花穂きらめく猫柳

庭に根付きて 我が背丈越ゆ

水そうのメダカ揃ひし鯛底に

付きたる卵 白く光りつ

お社の川に架かれる朱き橋

並ぶ擬宝珠に陽のきらめけり

前川 信江

海向こう 友やすらかに 淡路島

朝焼けに 出づる朝日に 頭下がる

坂口 清子

友よりの愛の小乞頂戴し

嬉しなつかし一人ぼほえむ

波の色 濃くなりゆきて 冬の海

雨病の 淋しさを耐えて 冬の空

増田 篤子

久々の急ぎ閑にし文巻れど

友の逝き死を 知る悲しみに

起こされて 頂くお茶の 温かさ

灯消す 部屋に差し込む 秋の月

はまなす

「わいわい楽しく
「リハビリクッキング」

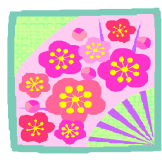
鶏むね肉の治部煮風

材料

- 鶏むね肉.....1枚
- しめじ.....100g
- みづ菜.....100g
- だし.....1000g
- わさび(すり下ろす).....少々
- 塩・薄口しょうゆ・小麦粉

作り方

- 鶏肉はそぎ切りにする。しめじは石づきを取って小房にわけ、みづ菜は根元を落とし5cm長さに切る。
- 鍋にだし、塩小さじ1/3、薄口しょうゆ大さじ1を合わせて煮立て、鶏肉に小麦粉を薄くまぶして1枚ずつ入れ、2〜3分間煮ると口当たりがよい。
- しめじを加えて1分間煮、みづ菜を加えてすぐに火を止め、器にい盛ってわさびを添える。



学会発表

第19回

徳島県理学療法士会
平成20年11月16日(日)
◆当院回復期リハビリテーション病棟における超高齢者の治療効果
～回復期リハビリテーション病棟入棟中のB I ・ F I Mの推移から～
理学療法士
佐川 英理・直江 貢

編集後記

わーれら、しょーばー、こゝに、あーりー♪
あけましておめでとうございます。
正月の恒例行事といえば、やはり「消防出初め式」でしょう。各地域それぞれ特色があり、海上放水を行うところあり、防災ヘリコプターの飛来するところあり、またぐる回しやはしご操法といった伝統の技を披露するところもあります。鳴門市消防は何とんでも観閲行進でしょう。今年からは観る立場になってしまいました。だが、本部の消防車、救急車に続いて46分団の消防車が走行する様は壮観です。本部長、分団員の日頃の訓練によって、災害時の迅速な活動が可能となっているのです。
進め消防！ 街の安全は君たちにかかっている!!!
何となく寂しい 木村健二

